

平成 28 年度 第 2 回花巻市文化財保護審議会会議録

日時：平成 29 年 2 月 20 日(月) 午後 2 時～午後 4 時 30 分
会場：花巻市役所石鳥谷総合支所 1 階委員会室

----- 次 第 -----

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 報告
(1) 平成 28 年度文化財関係事業報告について
- 4 協議
(1) 「成島和紙」の花巻市指定文化財の指定について
(2) 「城内武家屋敷伊藤家」の花巻市指定文化財の指定について
(3) 指定文化財の対象として調査研究を要する案件について
(4) 花巻防空監視哨について
- 5 閉 会

委員 8 名出席（3 名欠席）

会議の内容（概要）は、以下のとおり

- 1 開会
- 2 教育長挨拶（要旨）

お忙しいところまた悪天候の中、参集いただき感謝。本年度も文化財保護あるいは各種調査研究等におき事業を進めることができた。大迫での全国神楽大会等のイベントをはじめ、埋蔵文化財、無形文化財等の各種調査、あるいは報告等たくさんの事業があったが、文化財課としても委員ご指導を得ながら事業を進捗することができた。また、各種講演会、セミナー等も実施したところだが、多くの市民にたくさんの参加をいただくことができた。各地域の文化遺産の保存活用に対するご要望をいただき対応して参ったところである。本日はこのような今年度の文化財課関係事業について報告、市指定文化財の指定案件

について協議いただくこととしている。本審議会のご意見を基に次年度事業へ参考にさせていただきたい。よろしくお願い申し上げます。

3 会長挨拶

本日は忙しいところ参集していただき感謝。本日の会議は、28年度の文化財関係事業報告と、成島和紙、花巻城内伊藤家住宅の市指定文化財についての協議、花巻防空監視ショウ等についての協議が主な内容。協議案件が多い。各委員の忌憚ないご意見等をお願いしたい。

4 報告

(1) 平成28年度文化財関係事業報告について

資料により事務局説明（説明内容省略）

大内係長 一般文化財事業報告

酒井課長 市指定文化財（建造物）熊谷家修繕について報告

酒井課長 埋蔵文化財事業報告

酒井課長 花巻城跡発掘調査について報告

○質疑応答（主なもの）

高橋委員：事業報告の中で、資料1の1Pで、同事業で分割され記載されていますが必要がないと考えます。事務局で検討の上、今後修正願います。

大森委員：花輪堤ハナショウブ群落について、本年度県立大の先生等に見ていただいた際の報告を願います。

大内係長：平成28年7月12日に県文化財保護審議会平塚委員（県立大）と県教育委員会生涯学習文化課の大沢文化財調査員にみていただいた、一度の現地確認なので具体的に言えないが、指定地内外の外来植物の駆除が必要になるとのことであった。

阿部委員：ハナショウブの水位等については。

大内係長：ハナショウブの生育に必要な水位等についても、今後の調査が必要ではないかとの話だった。

大森委員：ハナショウブの花茎や株の話ばかりに注目が集まるが、周辺等生育環境の多様な植生も大切だと考える。その点にも気を付けて、ハナショウブの保護に取り組んでいただきたい。ハナショウブ群落の調査を行うのであれば、ぜひ私と佐竹委員で実物標本を採集して、ハナショウブ群落の調査を行いたいと思う。

酒井課長：ハナショウブについて、花茎調査を実施したところ減少している状況であり、現状を回復させていかなければならないと考えている。

次年度以降、調査委員会等を立ち上げ、保存計画等を検討していきたいと、県教育委員会にも相談している状況です。指定地内での実物標本採集も含め、調査委員会で検討していく予定。その際、ハナショウブ群落は国指定天然記念物であるため、文化庁への許可申請が必要となる。

大森委員：別件で、県内のレットデータブック調査（環境省）の調査にもかかわっており、早池峰山での調査等も行っている。花ショウブでも環境調査のために実物標本を採集し、今後の花ショウブ生育環境改善に生かしたいので、検討していただきたい。

阿部委員：ハナショウブは専門外だが、現地に行き、ハナショウブ群落の中で葎が生育しすぎこれらを駆除しないとハナショウブはますます減少するのではないかと感じた。もっと積極的に地元の方々とハナショウブを保護してほしい。

菊池会長：事務局には、今後とも対応願う。

大原委員：文化財課が担当ではないと思うが、今年度は国体があり、天皇陛下に早池峰神楽を見ていただいたので、そのことについても事業報告に書き加えてほしい。

阿部委員：前回の保護審で話したと思うが、有形文化財の所在調査を行ったのであれば、調査内容を報告してほしい。また、今後、無形民俗文化財、郷土芸能や神楽等を調査してほしい。

酒井課長：有形文化財所在確認調査については、次回の保護審までに報告書をまとめる予定。無形民俗文化財の調査は、次年度以降対応していきたい。

大森委員：カズクリについて。クリ玉蜂の防虫防除については、その後どのように対応されたか。

酒井課長：クリ玉蜂については、防虫剤の散布を保存会にお願いし実施していた。その効果については、まだ不明。今後も継続し観察していきたいと思います。

5 協議

- (1) 「成島和紙」の花巻市指定文化財の指定について
中村委員より「成島和紙」について説明
- (2) 「花巻武家屋敷伊藤家」の花巻市指定文化財の指定について
木村委員より「花巻城内伊藤家住宅」について説明

菊池会長：「成島和紙」「花巻城内伊藤家住宅」の花巻市指定文化財に指定する

件について、ご意見等有りますか。

各委員：特になし

菊池会長：指定することについて、御異議なしということによろしいか。

各委員：異議なし

(3) 指定文化財の対象として調査研究を要する案件について

酒井課長：資料 8 の案件一覧をもとに、各委員の皆様には調査研究をしていただきたい。事務局からの提案となる。

菊池会長：ご意見等有りますか。

菊池会長：石鳥谷に係る文化財調査対象に、以下のようなものがある。

- ・安倍道、(一部紫波町指定文化財もある)
- ・村境の石碑群
- ・境塚、藩境塚等
- ・旧奥州街道、古道
- ・傘連判状(石鳥谷歴史民俗資料館蔵)
- ・馬場田観音の絵馬
- ・権現堂山

酒井課長：リスト以外の内容についても、各委員からいろいろ出していただき、調査研究が可能な案件より対応してほしい。提案であり、必ず調査してほしいというものではない。

(4) 花巻防空監視哨について

酒井課長：本件については、いままでの経緯があるところだが、昨年 12 月 5 日に再度地元から保存に向けた要望書が提出された。今回は、防空監視哨の所有者から、官民一体での保存活動が行われるのであれば、有償提供を検討してもいいという話をいただいている。地元と現在協議しているところである。ただし、有償譲渡であっても、予算の兼ね合いもあることから、今後の予定は不明。また、防空監視哨の文化財指定については、必ずしも指定にこだわらず、戦争遺産等と位置付けることも考えられる。

小野委員：県内に、同様の施設は残っているか。

酒井課長：あったようだが、現在残っているのは、ここだけ。国内では 50 か所程度残っている。

木村委員：防空監視哨の煉瓦が花巻産のものかどうか。そういった視点から、産業遺産ということも考えていいのではないか。

小野委員：紫波町の城山公園に同じようなものがあったという話を聞いたこと

がある。

各委員：その他特になし

6 その他

なし

7 閉会